

受講者名簿及び人材開発支援助成金（建設労働者技能実習コース（経費助成・賃金助成））の助成金支給申請内訳書

① 受講者名簿										② 建設労働者技能実習コース（賃金助成）の助成金支給申請内訳				③-1 受講証明			
No.	35歳未満※	受講者氏名	C C U S ※	所属事業所名	雇用保険被保険者番号	雇用保険料率	下請名称番号	資本金・貸倒総額	常用労働者数	建設業許可番号	受講日数	受講期間中に賃金を支払った日数	申請額（左欄の日数×日額単価）	※算定額（記入しないでください。）	実施年月日（実施時刻）※2	学科時間	実技時間
1		○山天		○×電気工事(株)		1.000					1日	1日	円	円	(9:00 ~ 17:00)	7時間	
2		×川△子		○×電気工事(株)		1.000					1日	1日			(9:00 ~ 17:00)	7時間	
3						1.000											
4						1.000											
5						1.000											
6						1.000											
7						1.000											
8						1.000											
9						1.000											
10						1.000											

<p>登録教育機関等に委託して技能実習を実施した場合は③-1及び③-2を訓練実施機関が記入し証明してください。</p> <p>事業主自ら技能実習を実施した場合は事業主が③-1を記入してください。③-2の記入は必要ありません。</p>	<p>③-2 受講証明</p> <p>石川労働局長</p> <p>上記の者は、当社（団体）が実施した技能実習の受講者であり、上記の受講日（時間）の数を受講したものであること及びカリキュラム全体の時間数の7割以上の時間を受講したことを証明します。</p> <p>証明年月日 年 月 日</p> <p>実施機関名 一般社団法人金沢労働基準協会</p> <p>代表者氏名 会長 高桑 幸一</p>	<p>備考</p>
--	---	-----------

受講者氏名、所属事業所名と受講年月日などの欄に記入して金沢労働基準協会に持ってくると、受講者台帳と照合して確認します。受講が確認でいたら受講証明に金沢労働基準協会の印を押して証明します。

(注1) この内訳書に記入するときは、裏面の注意事項を参照してください。
 (注2) 「②建設労働者技能実習コース（賃金助成）の助成金支給申請内訳」は、建設労働者技能実習コース（賃金助成）の支給申請を行う場合に記入してください。
 (注3) 「③-1受講証明」、「③-2受講証明」欄における学科時間、実技時間についてはそれぞれ受講した時間を記載してください。また、学科試験・実技試験の時間も含めてください。
 ※1：（被保険者が21人以上の中小建設事業主のみ）訓練開始日において35歳未満である者に○を記入してください。なお、35歳未満の者は訓練開始日が35歳の誕生日の前々日である者です。
 ※2：通信制の場合であっても、通学して受講した受講年月日及び実施時刻について記載すること。
 ※3：建設キャリアアップシステム（CCUS）技能者情報登録者の場合に○を記入してください。